

1. 当要件定義業務 整備支援の目的・ねらい (Why)

【目的】

- (1) 御社の業務実態に適合し、的確かつ迅速に保守の要件定義が実施できる「保守の要件定義チェックリスト」を作成いたします。
- (2) 作成したチェックリストを有効に活用できるように、このチェックリストの活用研修を実施します。



【ねらい】

- 保守での手戻りを削減することができます。
- 保守でのテスト工数を削減できます。
- 効果が小さな保守がそのまま実現することを阻止できます。
- 総じて保守の「早い、うまい、安い」が実現します。
- その結果、利用者の納得度・満足度を高めることができます。
- 経営からも、保守の成果が評価されるようになります。

2. 当要件定義業務 整備支援の内容 (What)

- 作成する「保守の要件定義チェックリスト」の内容は、以下のとおりです。

大項目 変更要望確認を確実にいったか
システム変更仕様確認を確実にいったか
利用マニュアル改訂検討を確実にいったか
システム運用対応検討を確実にいったか
テスト計画作成を確実にいったか
移行計画作成を確実にいったか
ドキュメント更新検討を確実にいったか
実施計画作成を確実にいったか
要件定義承認を確実にいったか

中項目 各大項目ごとに2～10項目

項目ガイド 各中項目に対して様式・ワークシート・解説・ガイドを提供

- 作成したチェックリストの研修を1回実施します。
半日 対象は15人程度まで

3. 当要件定義業務 整備支援の対象範囲 (Where)

(1) 対象とする案件種類

- アプリケーションソフトウェアの保守の中の機能追加（バグ修正やIT基盤変更対応分は対象としません）

(2) 対象とするプロセス

- 要望受付から要望内容確認、変更箇所確認、変更仕様定義、影響範囲確認、テスト計画作成、移行計画作成、保守実施計画作成、要件定義承認まで。

4. 当要件定義業務 整備支援の実施方法 (How)

- 御社の検討グループの編成
↓
- 御社の保守の特性のヒアリング
↓
- チェックリスト改訂案の作成
↓
- 検討グループで検討
↓
- チェックリストの補強・修正
↓
- チェックリスト納品
↓
- 研修の実施方法ご相談
↓
- 研修の実施

5. 当要件定義業務 整備支援の実施時期・期間 (When)

- 標準期間は1ヶ月です。

6. 当要件定義業務 整備支援の責任者 (Who)

- システム企画研修株式会社
代表取締役 上野則男
- (株)データ総研 専務取締役 堀越雅明

7. 当要件定義業務 整備支援のご利用料金 (How Much)

- 標準サービス料金 210万円
- オプション追加はご相談ください。

お問い合わせ先：システム企画研修株式会社
電話：03-5695-3130 FAX：03-5695-3131
mind-pc@newspt.co.jp http://www.newspt.co.jp